

活動レポート



設立1周年記念講演会 開催される!

当協議会の設立1周年記念講演会が、2月14日、青葉公会堂会議室で区民など約70名の参加の中で開催されました。講師の動物作家・加藤由子氏による猫との上手な遊び方・遊ばれ方のお話はとても興味深いものでした。講演終了後は当会の井本会長の進行により、来場者からの質問に丁寧にかつ楽しくお答えいただきました。

また、会場では神奈川捨猫防止会作成の軍手の指で作ったネズミの赤ちゃんのおもちゃが参加者全員に配られ好評でした。

講演の後には、地域で不妊手術・餌やり・片づけ等をしている当会承認のキャットメイトの方々と協議会役員との情報交換の場を持ちました。

青葉郵便局でのパネル展

2月下旬には青葉郵便局でニュータウン動物愛護会主催のパネル展があり、神奈川捨猫防止会と共に当協議会のパネルを並べました。不妊去勢手術の啓発用パネルや、新しい家族に貰われて幸せになった猫達の写真もたくさん展示されていました。ここでのパネル展は、年1回2週間の催しで、今回は小学生の書いた「学校飼育のウサギ」の絵物語が人目をひいていました。このお話は後で絵本になるそうです。

「猫との上手な遊び方・遊ばれ方」講演会から

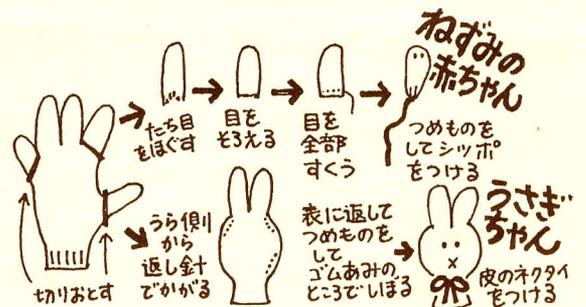
犬の遊びは、おっかけっこ。猫は、動くものに飛びつく。この違いは、両者の狩猟の行動が異なることからきている。

猫の癖のタイプには、ネズミを捕る（ネコ）、ヘビを捕る（ヘコ）、鳥を捕る（トコ）の3種があり、それぞれの性格によって遊び方も変わってくる。

人との遊びが楽しいと猫に感じさせ、次々と遊びを考えてあげ、刺激を与えるとよい。

軍手でできる

猫用のおもちゃの作り方



会員通信

第2回定期総会開催について

日時：平成15年6月25日午後2時～3時 場所：青葉区役所3階305号会議室
会員の皆様の出席をお願いします。

議案 平成14年度 事業報告、決算報告、
平成15年度 事業計画、予算案、 その他

平成15年度 年会費納入のお願い

15年度の会費（一般会員年額1000円）の納入を郵便局振替口座へお願いします。なお、総会会場でも納入をお受けします。

振替口座00290-6-16690 「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」

新規会員の募集について（一般会員年額1000円）

随時、募集していますが、総会会場でも受付しますのでおいでください。

活動レポート

総会の議事から平成14年度の活動状況を紹介
します。

平成14年度 協議会事業報告

1 「青葉区ねことの暮らしガイドライン」の普及啓発活動

(1) ガイドラインを広く区民に周知するため、福祉保健センターや青葉区獣医師会など他機関と協力し広報活動を行いました（周知用ポスター、チラシなどの作成や掲示）。

(2) 青葉区役所1階区民ホールでのパネル展

福祉保健センターと協力し、ガイドラインと協議会の活動をPRするパネル展を開催し来庁者への啓発を行いました。8月19日～26日

2 適正飼育講習会等の開催事業

(1) 講演会「猫との上手な遊び方・遊ばれ方」開催

(2) 福祉保健センター主催「猫の飼い方講習会」への協力 8月20日、23日

猫の飼育者へセンター主催の講習会への参加を呼びかけるなど、ガイドラインに沿った屋内飼育の普及啓発に協力しました。

(3) 青葉区健康まつりにて、猫の飼育相談を実施しました。10月10日開催

3 キャットメイトへの啓発指導・支援活動事業

(1) キャットメイトを募集承認し、ガイドラインに沿ったのら猫の世話の方法について情報提供や、啓発指導、物品支援などを行いました。

承認数 延べ 22 グループ

(2) キャットメイトに対して、のら猫個体数制限

のための不妊去勢手術の援助を行いました。併せて、健康管理、ワクチン（初回分）及びマイクロチップ施術の支援を行いました。

オス 14頭 メス 28頭 計 42頭

(3) キャットメイト意見交換会開催 2月14日

(4) 新しい飼い主さがしの推進

11月3日、青葉区民まつりにおいて、猫の譲渡会と飼育相談をニュータウン動物愛護会、神奈川捨猫防止会の協力で実施しました。この他、関連団体の実施する「里親会」等の情報提供を随時行いました。

4 「協議会」の普及活動事業等

(1) 「協議会」発足を周知する広報活動を行うと同時に、会員の勧誘活動を実施しました。

(2) 募金活動 区内動物病院等へ募金箱を設置し募金活動に協力を依頼しました。

5 関係団体との連携協力

青葉区獣医師会、青葉区保健活動推進委員会、神奈川捨猫防止会、ニュータウン動物愛護会等の団体と連携を図り、パネル展や譲渡会を実施しました。

6 役員会開催状況

理事会 5月8日、6月12日、8月8日、9月27日、10月25日、11月14日、1月23日、3月17日。以上、青葉区役所会議室等にて計8回開催。

青葉福祉保健センターから

青葉区ねことの暮らしガイドラインの要点

共通事項→◆猫に関して正しい知識を持つ ◆繁殖制限（不妊去勢）や健康管理を行う

飼い猫→◆屋内飼育の推奨

のら猫→◇繁殖制限し、その生活を改善し、さらに新しい飼い主をさがし飼い猫とすることによりその数の減少を図る◆のら猫を世話する場合は地域住民に迷惑とならないよう責任を持って世話する◆エサと排泄については必ず管理◆周辺住民の理解を得る◆屋内で飼ってくれる新たな飼い主をさがす

詳しくは 青葉福祉保健センター生活衛生課へ

電話045-978-2463～4

飼い主のみなさん！

猫の不妊・去勢手術はお済みですか

横浜市不妊去勢推進事業

平成15年度も猫・犬の不妊・去勢手術推進事業が実施されます。この事業は飼育される見込みのない子猫や子犬を増やさないために、手術費用の一部を助成するものです。

頭数 猫と犬をあわせて全市で2,000頭

補助額 5,000円 締切 8月1日

7月の広報横浜市版に掲載。指定事項を記入した往復ハガキで衛生局へ応募。応募多数の場合は抽選。横浜市衛生局と横浜市獣医師会の共催

コミュニケーション広場

このコーナーは協議会に協力をいただいている団体や会員等からの一言を掲載しています。今回は、青葉区在住の脚本家長坂さんからご寄稿いただきました。

「ネコ党のあなたへ」

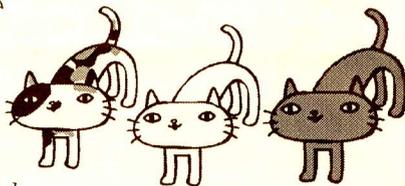
長坂 秀佳

ネコ----

私の最初のネコの思い出は、5才のころからはじまる。生まれたばかりのかわいらしい子ネコだった。私はその子ネコをとっても可愛がって、寝るときまでも抱いて寝たという。だが、私は寝相が悪かった。

翌朝母が来てみると、私はふとんの上に座り込んで、冷たくなった子ネコを立たせようとしていた。硬直した子ネコはすぐにコテンと倒れる。それをまた立たせる。コテンと倒れる。また立たせる。またコテンと倒れる。また立たせる。私はぼろぼろと泣きながら、それをいつまでもいつまでも繰り返していた-----と。これは中学生になってから母から聞いた話（私自身は覚えていなかった）。

----このことがあったせいか、私はネコより犬党で、ずっと犬ばかり飼ってきた。だから犬の話ならいくらでもできるが、ネコの話はとても少ない。以下は私が見聞した二例である。



私の実家はそのころ、母がひとりで暮らしていた。ネコ好きの母のところには、いつも野良ネコが寄りついてきていた。ある正月、帰省すると、こたつの脇に3匹のネコが座っている。まず、まっ黒なオス猫（どことなく気品があって高貴であった）とまっ白なメス猫。そして、三毛の子ネコ。だが、3匹は親子ではなく、まったくの他人(?)であるという。こたつの上には食べものが出ていた。白ネコがそれを取って食おうとした。すると黒ネコが、いとも優雅に、その白ネコの横つらを張ったのだ（つまりピンタを食らわせた）。私はおどろいてそれを眺めた。白ネコはそれでもまた食べものへ手を伸ばした。黒ネコはまたその横つらを張った。まさに「叱りつけた」という感じであった。そして、自分はまるで貴公子のように、ピンと背すじを伸ばしたまま微動だにしない。私は思わず「ネコの中のネコだ」とうなった。このネコたちはやがていつの間にやらいなくなったという。

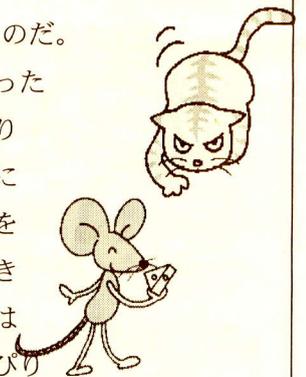
つぎの話はすごいデス。わが家の知人の体験談。

ネコ好きの彼女は、すでに9匹のネコを飼っていた。ある日、玄関の前に腹を空かせた野良ネコが来た。もうそれ以上は飼えなかったのも、家へは入れず餌だけを与えることにした。その翌日勤めから帰ると、同じ玄関の前に瀕死の子ネコが倒れていた。ひどい病気だった。彼女はあわてて病院へ連れて行って手当をほどこし、そうなるのはもう外へ出しておくわけにもいかないので、家に入れて看病した。

するとその翌朝、同じ玄関の前に、1匹のネズミが置いてあった。ふと見ると、3メートルほど向こうの道路に、先の野良ネコと、その夫らしきネコが、きちんと並んでこちらを見ていた。知人はそのときまだその意味を理解できなかつたらしい。

つぎの朝、まったく同じことが起こった。ネズミが置かれていて、2匹のネコがきちんと座ってこちらを見ている。その次の朝も、また次の朝も.....きっちり7日間同じことが続いた。

ネコの恩返し----本当にあったのだ。きっと昔からこういうことはあったのだろう。それが、だんだん語り継がれていくうちに、民話などに残るような、恩返しにネコが米を運んできた話や、小判を運んできた話などになったのだろう。私はいたく感動して、ホンのちょっぴりだけれど、「ネコのファン」になった次第であります（デモ、こんなところから、『化猫』伝説も生まれてきたのかな.....）。



長坂秀佳（ながさか しゅうけい）

愛知県豊川市生まれ。シナリオライター、作家。『浅草エノケン一座の嵐』で第35回江戸川乱歩賞受賞小説『黒い童謡（うた）』・『化猫伝/桜・妖魔』（角川ホラー文庫）などの他、ゲーム『弟切草』、『街』。映画『小説吉田学校』（主演森繁久弥）テレビ『特捜最前線』。ビデオ・DVD『竜馬がゆく』（主演上川隆也）など多数の脚本を執筆。

事務局だより キャットメイト特集

協議会発足より1年がすぎ、協議会が承認したキャットメイトのグループ数は約30になりました。各グループが世話をしている猫の合計も150頭を超えています。

協議会では、発足後、延べ79頭のキャットメイトが世話をしている猫に対して避妊去勢手術の支援を行う事が出来ました。キャットメイト負担額はお3000円 お6000円で、手術をした猫にはワクチン接種、マイクロチップ（個体識別用）を装着をしています。

獣医師会の先生方には、当会への多大なるご尽力に感謝しております。

キャットメイト活動支援

2月にはキャットメイト意見交換会を開き、5グループの方々に参加いただき貴重な意見をいただきました。今後は、その活動を把握すると同時に、意見交換や各種相談支援の場を設けていきたいと考えています。

キャットメイトQ&A

Q 猫の手術費用を援助してもらえますか？

A 協議会の行う不妊去勢手術費用等の援助は協議会が承認したキャットメイトのみを対象としています。また、「飼い猫」は対象となりません。

キャットメイトとは

のら猫の生活改善や新しい飼主探しを継続的に行うボランティアとして当会が承認したグループで、その条件は次のとおりです。

- ①協議会会員であること
- ②青葉区において「ガイドライン」に沿ってのら猫の生活改善を行うこと。
- ③自宅等付近住民の理解が得られる場所で、原則としてグループで活動していること。

募金活動にご協力を！

平成14年度募金額

194,999円

募金や寄付については、全額のものら猫の手術費用の援助に充てています。このほか、会費や、ガイドライン普及に対する区役所からの補助を充当していますが、資金に不足が生じています。

今後、街頭での募金を予定しますので活動に協力していただける方を募集します。特にキャットメイトの方は積極的にご参加ください。

賛助会員（年会費1万円）

青葉区食品衛生協会 様、若松屋商事 様、佛教平和会延命地藏尊 様、森久保薬品(株) 様、大日本製薬(株)アニマルサイエンス部 様

平成15年3月末現在

編集後記

無事、会報3号を発行出来ました。編集委員それぞれ、他に仕事がありたいへんですが、今後も年2回の発行を続けていきたいと思っています。



キャットメイト承認状況

H13年度 9団体
H14年度 13団体
H15年度 7団体
延べ29グループ
手術費用援助実績
H13年度 お5, お5
H14年度 お14, お28
H15年度 お17, お10
H15年5月20日現在

1	21番地の猫の友達	16	たんぽぽの会
2	チロの会	17	猫ファンサークル
3	中島さん	18	ラブキャットの会
4	愛内組クラブ	19	キャッツ愛
5	第一地区猫の会	20	宮が谷戸
6	奈良五地区猫クラブ	21	catzila
7	キャット・ママ	22	ベルメイト
8	のらちゃん	23	ファンシーキャット
9	ハッピーグリーン	24	さくら
10	プリンちゃんの会	25	リパブルニャン
11	山口さん	26	たつくん
12	アポロの会	27	ねこたま
13	長谷川さん	28	ヤマトキャット
14	フチの会	29	ミを助ける会
15	アールグレイ		